

養成所ニュース

平成15年度 第2号 No.12

発行
財団法人 日本知的障害者福祉協会
社会福祉士養成所
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19
秀和第2 浜松町ビル 6F
TEL:03-3438-0984

第14期生346名が受講修了



「新たな出発に向けて」

財団法人 日本知的障害者福祉協会
社会福祉士養成所

所長 加藤 正仁

この度めでたく当協会の社会福祉士養成所を修了される第14期生の346名の皆さん、おめでとうございます。皆さんの1年半に及ぶこれまでの持続的な向上心とそれへの弛まぬ精進に対して心から敬意と祝意を表します。

ご案内のように今我が国の障害者福祉は大きなターニングポイントに入ってきております。不安と期待が錯綜しつつもこの改革によって利用者が今まで以上に幸せになる、幸せになれるという関係者の強い思いがこのやっかいな改革を推進しているのではないのでしょうか。しかしこのことの成否は皆さんの彼らに対する医療・教育・福祉・行政に関するジェネラリストと同時にスペシャリストとしてのコーディネーターやケアマネジャーの役割に大きく依存しています。勇気を持って、労を厭わずこの難局に立ち向かって下さい。時代は間違いなく皆さんの味方です。皆さんのご健勝とご健闘を心から祈ります。

～修了おめでとうございます～

社会福祉士養成所 平成15年度の修了者は346名となりました。
国家試験合格にむかって頑張ろう!

修了者内訳

	14期生	延長者	計
在籍者数	364名	8名	372名
修了者数	341名	5名	346名

平成15年9月30日付けで、当養成所を修了された方は、上記の修了者内訳のとおり346名となりました。これは在籍者の93%にあたり、通信課程であることを考えれば、高い修了率といえます。また、ほとんどの方が仕事との両立で修了するまでには大変な努力が必要であったかと思えます。

しかし、これで満足してはいけません。目の前には皆さんの目標である社会福祉士国家試験が1月に迫っています。

これまでの努力を無駄にしないためにも、今まで以上により一層の勉学に勤しみ、多くの方々が社会福祉士合格という最終目的に達することを期待しています。

第16回社会福祉士国家試験の概要

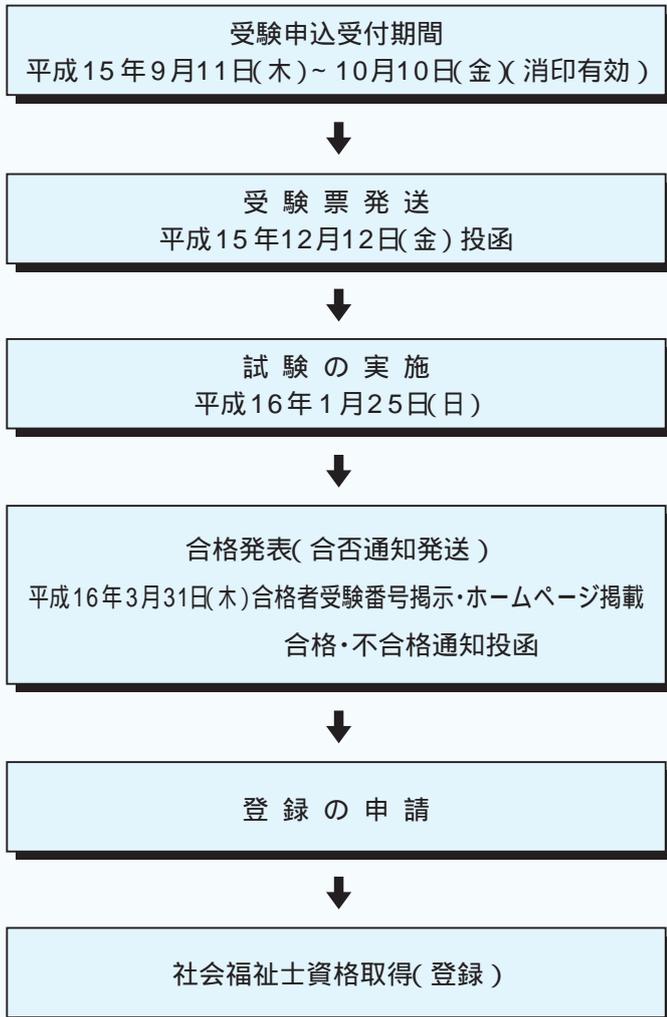
— 試験日時及び試験科目 —

試験日	試験時間	試験科目(13科目)
平成16年 1月25日 (日曜日)	10時00分～11時55分	社会福祉原論 心理学 社会保障論 社会学 公的扶助論 法学 地域福祉論 医学一般
	13時30分～15時35分	老人福祉論 社会福祉援助技術 障害者福祉論 介護概論 児童福祉論

— 試験地 —

北海道、青森県、宮城県、東京都、石川県、愛知県、
大阪府、広島県、香川県、福岡県、鹿児島県、沖縄県

国家試験の受験申込みから資格登録まで



国家試験に向けてのおすすめ図書

《最近の動向や数値に関する情報源として》

国民の福祉の動向（厚生統計協会）

厚生労働白書（ぎょうせい）

《最後の仕上げや知識の整理に》

必携・社会福祉士（筒井書房）

社会福祉士・受験ワークブック（中央法規）

社会福祉用語辞典（ミネルヴァ書房）

社会福祉士国家試験出題基準・合格基準は
(財)社会福祉振興・試験センターのHP(<http://www.sssc.or.jp>)
に掲載されています。

合格基準

次の2つの条件を満たした者を合格とします。

(1)問題の総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した点数以上の得点の者。

(2)(1)を満たした者のうち、試験科目（ただし、社会福祉援助技術については、「一問一答問題」と「事例問題」をそれぞれ別個の試験科目とみなす。）14科目の各科目すべてにおいて得点のあった者。

(注)配点は、1問1点の150点満点です。



「年齢別合格率一考」 社会福祉士養成所 専任教員 五島 秀一

14期生の皆さん修業おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

社会人として様々な仕事や役割をこなしながらの通信教育は、皆さんの予想以上にハードで過酷なものだったのではないのでしょうか。それを修業に結び付ける

為のご本人の努力はもとより、ご家族や職場の協力なくして有り得ない事であり、関係の皆様全員に心からの敬意を表したいと思います。

さて、仕事柄沢山の受講生と触れ合う機会に恵まれます。それは私の子ども位の方から人生の大先輩まで多様です。その人の福祉観・価値観というものに出会う度に、専任教員という立場を忘れ時に感動し、時には興奮し、ある意味私の方が受講生の皆さんからエネルギーを頂いている気が致します。特に、年輩の方々のお話には夫々人生があり、ドラマがあり、私の内面的な何かが揺り動かされるほどの強いエネルギーを感じます。

一方、国家試験の過去15年間の合格者の年齢別構成率があります。30歳までが67.3%を占め断トツ1位で、2位の31歳～40歳では17.6%、以降年齢が高くなる程確実に下がって、61歳以上では0.4%になります。試験という壁がある以上、記憶力の低下する熟年者ほど不利なのは否めません。先述の年輩の方々のお話には強いエネルギーを感じる事の話に戻りますが、我々が福祉のターゲットとする利用者は

こうしたエネルギーを吸収しながら自らの力を発揮し始めます。そうした支援者と利用者の関係性を考える時、より強い影響力を持つ熟年パワーはこれからの福祉になくはならないものでしょう。

社会保障制度改革が叫ばれ、その根本原因を少子高齢社会の人口構成に見るのが一般的ですが、その対策を若い世代のみに委ねるのは疑問が残ります。あらゆる世代が、果たすべき役割の中で力を発揮できる社会こそ新しい社会保障の仕組みを作ります。そうした意味において、何れ全人口の25%を占める高齢者の皆さんが、豊かな人生経験に裏打ちされた価値観に基づき、福祉専門職として力を発揮することが出来たならば、大いに活躍される事は自明の事です。

若い世代が学び、力をつけ、社会的役割を果たすのは当たり前です。しかし、いわゆる定年期を迎え、生産年齢人口から外れる世代の人達が、それまで生きて来た人生とは違う分野に挑戦し、再び社会的役割を持ち社会貢献をする事は、素晴らしい事であると同時に極めて困難な事です。

困難に立ち向かう姿を見るとき、人は感動し、そのエネルギーを自らに重ね合わせます。

我が養成所でも年々熟年挑戦者が増え続けています。是が非でも0.4%の壁を突き破って頂き、「近頃の若い者は」と傲を飛ばしてもらいたいと願っています。

(ちなみに、我が養成所単独のデータでは、30歳以下は7.7%、30代、40代を合わせて78%、60代は1.4%と、国のデータとは全く異なる傾向があることを付け加えて置きます。)

後期スクーリング報告

スクーリング交流会報告

後期スクーリング期間中の8月13日、横浜桜木町ワシントンホテル24階「東天紅」において、第14期生希望者と演習教員による交流会が行われ、約60名の方々が出席しました。

全国から集まる受講生の交流の場としてはじめて以来、3回目の開催となりました。

各テーブルでは、常日頃の疑問点や今後の国家試験対策、福祉に従事するものとしてのジレンマ等、様々な意見が交わされ、大変盛り上がりしていました。

また、終了前には恒例のアセスメントゲーム(100円じゃんけん&自己紹介大会)が行われ、盛況のうちにお開きとなりました。

窓からの景色は当初、夕焼けの空でしたが、終了する頃には、ロイヤルブルーの夜景が広がり、ライトアップされた横浜ベイブリッジやランドマークタワー・観覧車の色とりどりの光景が眼前に広がっていました。とはいっても、お酒がすすんでいた方々はあまり、気にならなかったようですが……。

次回も後期スクーリング時に予定していますので、是非ご参加ください。



交流会の様子



スクーリング会場内の様子

社会福祉士養成所(通信課程)

第16期生 募集のお知らせ

入学資格

- (1) 大学等を卒業した方
- (2) 短期大学・専門学校等(3年制)を卒業し、1年以上の実務経験のある方
- (3) 短期大学・専門学校等(2年制)を卒業し、2年以上の実務経験のある方
- (4) 4年以上の実務経験のある方

修業期間

平成16年4月1日～平成17年9月30日

定員

300人(対象地域：全国)

募集期間

1期募集 平成15年11月1日(土)～平成15年12月1日(月)
 2期募集 平成16年1月5日(月)～平成16年2月6日(金)

授業料等

入学選考料・・・5,000円
 授業料・・・190,000円
 現場実習費・・・80,000円(履修必要者のみ)
 テキスト代・・・約40,000円

入学案内の請求

はがき、FAXまたはホームページで請求してください。

教育訓練給付制度指定講座

第15期生前期後半スクーリングのお知らせ

会場 パシフィコ横浜「アネックスホール」
 日程 平成15年11月21日(金)～24日(月)
 日程表(15期生前期後半)

月日	時限	科目	講師(所属)	教室
11/21 (金)	13:05～13:15	開講式		パシフィコ横浜 「アネックスホール」
	13:15～16:15	心理学	山村 健(川崎医療福祉大学)	
	16:25～16:55	心理学 試験		
11/22 (土)	9:30～12:30	医学一般	角南 重夫(川崎医科大学)	
	13:15～16:15		末光 茂(川崎医療福祉大学)	
	16:25～16:55	医学一般 試験		
11/23 (日)	9:30～12:30	障害者福祉論	佐藤 久夫 (日本社会事業大学)	
	13:15～16:15			
	16:25～16:55	障害者福祉論 試験		
11/24 (月)	9:30～12:30	児童福祉論	新保 幸男 (神奈川県立保健福祉大学)	
	13:15～16:15			
	16:25～16:30	閉講式		
	16:30～17:00	児童福祉論 試験		

～受験番号の報告について～

平成15年9月30日に修了した第14期生(第13期生延長者含む)の方は修了書類に同封のハガキを使用し、国家試験の受験申込有無と受験番号(平成15年12月12日に受験票が試験センターより投函)を本養成所あてに報告してください。

事務所移転のお知らせ

さて、本養成所は設置主体である日本知的障害者福祉協会の事務局移転に伴い、平成15年7月28日より新事務所にて業務を開始しております。
 今後、本養成所あての発送物や問い合わせ等につきましては下記の新事務所あてにお願いします。

〔移転先〕

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19
 秀和第2浜松町ビル6階
 TEL.03-3438-0984
 FAX.03-3431-1803
 URL.http://www.aigo.or.jp
 TEL・FAXは以前と変更ございません。

〔案内図〕

